



中学部：近隣3校との交流 <10月2日(木)本校で実施>

体育館で3チームに分かれて、ボッチャ大会を行いました。始めに各校の代表生徒が自校の紹介をしました。交流に対する意気込みを伝え合い、昨年度の交流で出会った友だちとの再会を喜びながら、期待感を膨らませて交流がスタートしました。ボッチャの試合前に、本校生徒と交流校との合同チームを作り、自己紹介と作戦会議を行いました。初球を投げる時にマイクで名前と意気込みを言うと、体育館は全員で盛り上がり選手に大注目しました。選手も気持ちの入った投球を行いました。ジャックボール近くにボールが転がると味方だけでなく相手チームからも歓声が起こり、楽しい雰囲気の中、交流が進んでいきました。本校の生徒がスロープを使って投球する際には、交流校の生徒が何人もかけつけ、みんなでスロープを支えてコースを調整し、「投げていいよ！」と言葉かけをする場面も見られました。とても充実した時間を過ごすことができました。

小学部：長吉第二幼稚園交流 <10月30日(木)本校で実施>

<11月13日(木) みっけまつり練習見学 4・5歳児が来校>

ふれあい交流では、はじめはお互い緊張した表情でしたが、みんなで大きな1つの円になり『どんぐりころころ』を一緒に歌うと、表情が緩んできました。次に2グループに分かれて円になり、曲に合わせ大きなパラバルーンを使った活動をしました。パラバルーンを上下に揺らした時の気持ちのよい風に、笑顔になる園児と本校児童たちでした。次にマイムマイムの曲に合わせて、前や後ろに移動しました。活動後、園児たちから星のペンダントを渡されると、本校児童たちは興味を持って触ったり、見たりしていました。最後に園児たちに感想を聞くと「パラバルーンが楽しかった」「どんぐりころころを歌うのが楽しかった」などの感想をたくさん伝えてくれました。みっけまつり練習鑑賞では、園児たちは知っている曲が流れると大きな声で歌い、また、本校児童たちがおむすびを転がすシーンやボールを転がして鬼を倒すシーンでは、大きな声で「がんばれー！」と声援や拍手を送ってくれました。園児たちの声援を受け、本校児童も笑顔になりました。笑顔がいっぱいみられる交流となりました。後日、園児たちから「みっけまつりがんばってね」などのメッセージやイラストが描かれた素敵なお手紙をもらいました。本校児童たちはお手紙を見ながら、先生からメッセージを読んでもらい、笑顔がこぼれていました。

小学部：長原小学校交流 <11月19日(水) みっけまつり予行見学 2・5年生が来校>

<12月18日(木) 長原小学校作品展見学 本校5・6年>

長原小学校の2・5年生がみっけまつり予行を鑑賞しに来てくれました。鑑賞中、知っている曲が流れてくると、歌ったり、身体を揺らしたりする長原小児童がいました。また長原小児童が「がんばれー！」と声援や拍手を送ってくれ、本校児童にも嬉しそうな表情が見られました。本番に向け、充実したみっけまつり予行になりました。

長原小学校作品展見学では、平野支援学校5・6年生で長原小学校の体育館へ行きました。展示された作品をじっくり見たり、気になる作品を先生とお話をしたりしました。帰る前は、長原小学校の校長先生と教頭先生にみんなでお礼を伝えました。

高等部：長吉高等学校との文化交流 <12月19日(金)本校で実施>

長吉高等学校の多文化研究会の生徒たちと交流及び共同学習を実施しました。プログラムは、9月の打ち合わせ交流のとおり、長吉高等学校発案の『交流ダンス』、平野支援学校発案の『チーム対抗平野支援学校〇×クイズ』をみんなで楽しみました。『交流ダンス』では対面で踊り、声をかけあったり、笑顔を向けあったりして、お互いに意識しあい、緊張する気持ちを吹き飛ばす盛りあがりを見せていました。『チーム対抗平野支援学校〇×クイズ』では、平野支援学校にまつわるクイズを平野支援学校と長吉高等学校の生徒混合チームでチャレンジしました。「〇かな。」「×かな。」とチームでコミュニケーションをとって参加していました。今年度、双方の生徒同士で内容を決めることになり、時間をかけて、内容を吟味しながら準備しました。結果、例年よりコミュニケーションをとる場面が増え、互いを知る良い機会となりました。帰り際に、長吉高等学校の生徒が、「楽しかったと伝えたい」と平野支援学校の教員にアドバイスを求め、手話なども使って平野支援学校の生徒に気持ちを伝えていました。

高等部：阿倍野高等学校との交流 <ビデオレター交流>

毎年、本校高等部は阿倍野高等学校吹奏楽部と音楽交流を行っています。例年、阿倍野高等学校が来校し、本校体育館において演奏会をするというスタイルで行ってきましたが、今年度は日程が合わずに、残念ながら、対面での音楽交流行事ができなくなりました。

しかし、両校の伝統ある交流行事を継続させたい思いから、今年度はビデオレターという形で交流を行いました。阿倍野高等学校は、今年度練習を重ねた3曲を演奏してくれました。1月9日に高等部生徒は、ビデオレター鑑賞会を開催し、演奏を楽しみました。同日、高等部生徒は、返礼となるビデオレターを撮影しました。本校のみっけまつりにおいて生徒たちが披露したダンス、12月の長吉高等学校との交流行事で取り組んだダンスをビデオレターにして、2月に阿倍野高等学校に送ります。次年度も交流行事が継続できるようにしていきます。

小学部：居住地校交流まとめ

今年度は9人の児童が延べ13回、それぞれの居住地校で交流を実施しました。継続して交流している児童たちは、初めは緊張していても、居住地校の児童たちと挨拶を交わしたり、一緒に過ごしたりするうちにいつもと違う環境にも慣れ、笑顔で活動に取り組むことができました。ポッチャやモルックのゲームに参加した児童たちは、居住地校の児童たちとチームになり、ゲーム中に「がんばって!」「やったね。」等声をかけてもらおうと、うれしそうな笑顔が何度もみられました。自分から声を出して気持ちを伝えることもあり、居住地校の児童たちの楽しそうな声や、にぎやかな歓声にさらに楽しさが増しているようでした。法被作りをした児童は、居住地校の児童たちから声をかけられると、表情が明るくなり、自助具を使いながら法被の背中部分にすてきな字を描くことができました。本校児童は、自分で描くときに応援してもらったり、完成した法被を褒めてもらったりすると、達成感を味わっているようで笑顔になりました。また、交流での初めの挨拶のときにうつむく等の緊張しやすい児童もいますが、居住地校の児童たちに話しかけられたり手にタッチしあったりすると徐々に緊張もほぐれ、ゲーム時にはサポートを受けて一緒に参加できるようになりました。最後には、「楽しかった。」とみんなの前で発表できるようになりました。本校児童は、交流を重ねていろいろな活動をすることで、居住地校の児童たちとの交流を深めつつ、成長も感じられるようになってきました。

中学部：居住地校交流まとめ

今年度は、3人の生徒が居住地校の生徒たちと交流を実施することができました。文化祭の舞台発表や芸術鑑賞会の観覧をし、合唱、ダンス、演劇などを居住地校の生徒と一緒に鑑賞しました。休憩時間や舞台前に移動したりする際に、声をかけてくれ、お互いに少し照れくさいような嬉しいような様子でした。

同学年のクラスに入って友だちと交流したり、一緒に展示の見学をしたりしました。クラスでの交流では、みんなの前で自己紹介をし、会話を楽しみました。同じ小学校出身の友だち数人と、立位で背比べをしたり、「声が変わった、大きくなった」と互いの変化を感じながら再会を喜んでいました。展示の見学では、居住地校の生徒が車いすを押しながら、展示物の解説をしてくれました。はじめは、少し緊張して話している様子も見られましたが、展示物を見ながら会話が進むと、しだいに打ち解けることができ、楽しく会話していました。充実した時間を過ごし、とても良い交流の機会となりました。